

両小野中学校2年生が語る

僕たち、私たちの「たのめの里」

私が思う「たのめの里」の

Q

😊 **良い**所 / 少し **不便**な所 😞



〜元気なふるさとを考えるシンポジウムより〜

世代交代への始めの一歩

A

😊 自然がいっぱいで、人が優しくて、他校では出来ない体験が沢山ある

😞 道路が狭く、白線も見にくく、見通しの悪い所があり、事故を防ぐ対策をしてほしい



小澤 聡 (旭)



小口 菜々穂 (古町)

😊 アントレ学習に地域の方が参加し、地域美化活動などでも、地域との繋がりがとても深いと感じている

😞 電車の本数が少なく、高校生になって不便を感じない様、本数を増やしてほしい

😊 登下校時、地域の方々が明るくあいさつをしてくれて、とても地域との繋がりが深い

😞 地域内に街灯が少なく、道路を歩くのに危険であり、もっと明るくしてほしい



田中 翔 (雨沢)



小松 ゆい (勝弦)

😊 自然がいっぱいで、地域の方があいさつをしてくれてとても嬉しい。地域との繋がりをを感じる

😞 自転車で帰る時、街灯が少なく、足元が危ないので改善してほしい

😊 生徒と地域の関わりがとても深いので、地域の活動には積極的に参加している

😞 狭い道路などに、街灯を増やして、危険箇所をなくしてほしい



中島 瑛大 (春宮)



私たちはこんな大人になりたい

- ▶ 小野全体に役に立てる仕事をしたい。行政などにたづさわりの、積極的にいろんな意見を出していきたい。 **中島 瑛大**
- ▶ この地域にいなくても、この地域に人が来られる様な仕事についてみたい。地域の改善点を考えながら、意見の言える大人になりたい。 **小松 ゆい**
- ▶ たのめの里が好きなので、地域の繋がりを大切

- にする大人になりたい。少子化など地域の問題を解決できる大人になりたい。 **田中 翔**
- ▶ 中学校で学んだ事を、大人になっても持ち続け、その事を発信していきたい。そして地域との関わりの深い大人になりたい。 **小口 菜々穂**
- ▶ たのめの里をより良くする為に、人口対策に役立つ様な大人になりたい、そして地域に貢献出来る大人になりたい。 **小澤 聡**

日頃生徒たちは、自分の思いや良さを生かそうとし、生活している姿がある。学校でも子ども達の発想を大切にしている。生徒会の活動も一生命である。生徒が大人になっても、中学校での学びを将来に生かしてほしい。

上條両小野中学校長

ふ るさとへの愛着は、地域の良さを発見し、自らが体験する中で、気づいた事が「希望」や「行動」に繋がるとしたら素晴らしいと思いませんか。やがて、地域に貢献する生徒の「願い」や「夢」を語り合い、そして未来を担う生徒に、大人が託す「地域の願い」を共に考えた一日でした。

地域の方が語る

未来に託す私たちの願い

地域に住んでいて感じる事
地域が元気になる為に考えている事

Q

A



金井 盛吉
(定住対策委員)

空き家の解消に奮闘している。中学生が空き家の片付けや、清掃をしていただき賃貸や売買のスピードが上がり嬉しかった。人口減少が急激に進んでおり、子どもの減少に歯止めがかからない。地域を元気にする為に、中学生の力を借りていきたい。

地域には美しい山や川、自然がいっぱいである。田舎の良さは財産である。学童の見守りをしている中で、子どもの声を聞くと元気で今日も頑張ろうと言う気持ちになる。子どもとの会話を近所の方が聞いていて喜んでくれる。地域を元気にしていきたい。



小松 恵美
(小中学校組合教育委員)

地域に嫁いで40年になる。暮らしにくさは何もない。自然が素晴らしい所で、子育てが出来た。更に、日当たりや、風通しも良く、農業をするのにとっても適した土地だと思う。地域との繋がりも深く、老後に向けてとても住みやすい地域と感じている。

小野の自然が素晴らしく、地域との繋がりが深い「人よし、水よし、教育よし」は小野の里のキャッチフレーズである。地域の美化活動でも、小中学生と一緒に清掃している姿はとても良い。街灯や道路の安全を地域で守って行きたい。



中島 公子
(中学2年生の保護者)

自然に恵まれ、子育てをするのに最高の地域であり、食物や水、野採がとても美味しい。人も温かく、大人にも子どもにも目を向けていてくれる。これからも地域の声をいっぱい聞き、思っている事を発信する勇気を持ち頑張ってほしい。

一人ひとりの言葉の中に、生徒や地域の人の思いのあるご意見であった。今の子どもたちは積極的に、地域の事を考えており、これらは教育の成果でもあると思う。



有田 雅春
(民生児童委員)



白鳥 義政
(両小野学園運営委員)



岩下 隆弥
(コーディネーター)

生徒に託す希望や願い

- ▶ 人口を増やし、増えた人を減らさず、三世代を絶やさない様に、そしてこの地域を次世代に伝えていく事が大切と思う。保小中、顔の見える活動をし、皆さんが積極的に行動し、人を呼ぶ力を身に付け、その事を子どもや大人に発信してほしい。 **中島 公子**
- ▶ いずれはふるさとに帰ってきてほしい。生徒が地域の事を考えてくれていてとても嬉しい。電車数や店舗数等不安もあるが、人口を増やす事は、すべての解決に繋がる事にもなると思う。生徒の皆さん、地域の大人を元気にさせてほしい。 **白鳥 義政**
- ▶ これからはどこに住んでいても、変わらない時代が来る。AIが進む中で、情報が早く確実であり、どこでも仕事が出来ると思う。県外に出ても、ぜひ家族を連れて来てほしい。デジタル化が進む中で、地域の中で教え合っ生活してほしい。 **小松 恵美**

- ▶ 大きな夢を持って、この土地を忘れず頑張ってほしい。そしていろんな仕事にチャレンジしてほしい。友達も多くなってほしい。「疲れた時はしばらく道端の草に腰をおろして行く人を眺めるがよい。人は決して遠くには行っていない」との格言がある。 **有田 雅春**
- ▶ 店舗やJA、銀行も地域に無くなってしまった。人口を増やす事を考えながら、解決の糸口を探りたい。地域が一体となって、様々な課題に取り組んでいきたい。中学生の力をこれからも発揮してほしい。 **金井 盛吉**
- ▶ 地域を活性化する原動力は若者である。地域の良いところは遠くから見ないとわからないと言われる。そして、信念を持って行動する人がいる事ではないだろうか。頭の中でわかっても「自らの行動」が地域を動かす事になると思う。 **岩下 隆弥**



参加者の感想

地域と生徒の繋がりを感じとても嬉しかった。生徒は地域の良さを考え、一生懸命活動をしている。学校の事を、地域の方々が考えていてくれる事がとても有難い。

下條両小野中学校教頭

ゆきづりの人



児玉 義明さん (古町)

蕎麦の極め人

北小野に移住して5年。広島県生まれ。自衛隊勤務36年。全国を駆け巡り、関西より越してきた。長野県に住むからには、以前から興味があった、蕎麦打ちをマスターしようという道場に通い勉強を重ね。今では「2段」を取得した。自宅の裏に「蕎麦小屋」を作り、日夜腕を磨いては、知人に食していただき評価をもらう努力家だ。

蕎麦打ち講習会の講師として依頼もあり多忙な毎日だ。とにかく趣味は多彩で、夏は溪流に分け入り岩魚ヤマメ(アマゴ)と格闘、畑には多種多様の野菜等を育て、中でも「蕎麦」は珍しいと自慢げに語る。また、山が好きで、日本百名山の内、すでに80%は制覇したと言う。明るく面倒見が良く、地域の信頼も厚くすっかり「たのめの里」に染まった児玉さんの姿があった。

(神戸)

話題 題

俳人 矢彦雨路(本名知充) 没後100年
——雨路が歩んだ波乱の生涯——

北小野(宮前) 出身で俳人矢彦雨路の業績を紹介した、特別展が開催された。直筆の句短冊や水墨画、句碑など雨路の残した足跡を振り返った。辰野利彦さん(大出)の協力があり、郷

土の歴史や偉大な人物を知るきっかけとなった。「雨路の魅力は、生涯をかけて、小林一茶の後を追いつ、一茶を顕彰し続けた、そのひたむきさにある」と辰野さんは語ってくれた。



飛んで! 飛んで! 紙飛行機作りと飛行機飛ばし

子ども会育成連絡協議会主催の、紙飛行機作りが行われた。図書館北小野分館職員が指導し、沢山のオリジナルな飛行機が完成した。そして、作った飛行機がどこまで飛ぶか距離を測

定する大会を行った。参加した、幼児から小学生が舞い上がる飛行機に歓声を上げた一日となった。家族で参加し楽しむ行事はこれからも企画していきたい。



北小野公民館講座 「スマホ活用入門講座」

スマートフォンのお基本的な使い方を学ぶ講座が開催された。全5回の連続講座で、写真の撮り方や緊急時にも使える機能など、幅広い内容を学習した。

「色々な機能を知ることができた」役立つ講座だった。「個人指導が嬉しかった」等充実した参加者の声が印象的であった。



北小野公民館の facebook ページ を開設しました。
是非ご覧ください。

QRコードからすぐにアクセス! →

